



留萌市中期財政計画

第2期留萌市中期財政計画（令和3～7年度）では、5つの財政規律（基準）を設定し、年度ごとに現状を分析して規律ある財政運営を進めています。

問 市・財務課

Tel 42-1813

特集

「留萌市中期財政計画」 5つの財政規律



中期財政計画に関するページ（市HP）QR▲

● 令和5年度の財政規律の状況

（1）連結実質赤字比率：黒字維持

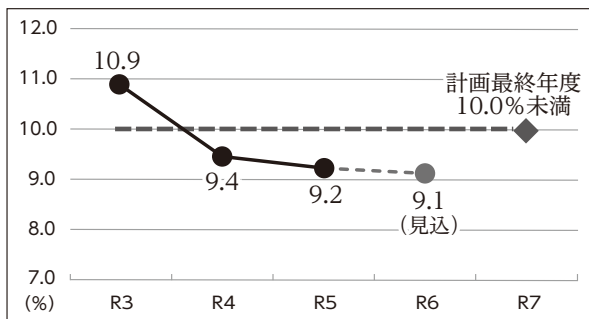
◎財政規模に対する連結実質赤字額（各会計の収支差引額の合計）の比率です。
ただし、合計値が黒字の場合は「実質赤字額なし」となります。

令和5年度決算では、全ての会計において黒字決算又は収支均衡となり、連結実質赤字比率は発生していません。（黒字額 16 億 3,300 万円）

（2）実質公債費比率：計画最終年度に 10.0%未満

◎財政規模に対する一般会計で負担する地方債などの返済金の比率です。

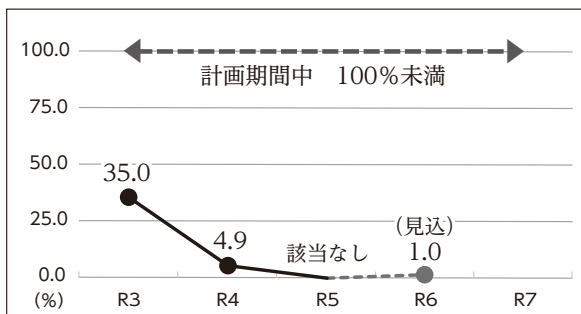
第1期中期財政計画の財政規律に基づいた地方債の発行を進めてきたことから元利償還額が減少し、令和5年度決算では9.2%と改善し、令和6年度決算においても9.1%と10%未満を維持する見込みです。



（3）将来負担比率：計画期間中 100%未満

◎財政規模に対する将来負担する実質的な負債残高の比率です。

令和5年度決算では、現在抱えている負債額に対して、基金残高などの充当可能財源が上回り比率は該当していません。令和6年度決算においては、大型投資事業の実施により1.0%となる見込みです。



(4) 市債発行額：1年間9億円・計画期間内45億円

令和5年度決算における発行額は、投資事業分として7億3,300万円、過疎対策事業債ソフト分として9,100万円、合計8億2,400万円の発行額となり、単年度の発行目安9億円を下回っており、引き続き計画期間内におけるベースとなる発行額が45億円以内となるよう努めます。また、大型投資事業については、補助金や有利な市債などの活用により、将来の公債費負担を抑えながら実施していくこととしています。

(単位：百万円)

	発 行 額					対 計 画	
	規律(単年)	R3	R4	R5	R6見込	R3~R6	発行残
投 資 事 業	800	829	639	733	762	2,963	1,037
過 疎 債 ソ フ ト	100	87	130	91	104	412	88
合 計	900	916	769	824	866	3,375	1,125
大 型 投 資 事 業	—			1,137		—	—

(5) 財政調整基金残高：標準財政規模の20%を確保

令和5年度末残高は19億2,258万円、標準財政規模の24.7%となり、財政規律である標準財政規模の20%を確保し、令和6年度末の残高についても財政規律を上回る見込みです。

● 今後の財政見通し(令和7～11年度)

▼留萌市中期財政計画では、計画の進行管理を目的として、毎年向こう5カ年の財政見通しを作成し、公表することとしています。

(単位：百万円)

区 分	R7		R8		R9		R10		R11	
	総 額	一般財源	総 額	一般財源	総 額	一般財源	総 額	一般財源	総 額	一般財源
収 入	15,132	8,780	14,950	8,679	15,127	8,616	15,159	8,615	14,960	8,536
支 出	15,316	8,964	15,148	8,877	15,252	8,741	15,433	8,889	15,302	8,878
収支差引額	△ 184		△ 198		△ 125		△ 274		△ 342	
決 算 に お け る 収入増・支出不用等	200		200		200		200		200	
収入支出差引額 (再 掲)	16		2		75		▲ 74		▲ 142	
財 政 調 整 基 金 残 高	1,980		1,882		1,857		1,683		1,441	

近年の物価高騰等の影響により行政運営にかかる財政負担が増加している状況を踏まえ、令和7年度から令和11年度の財政見通しにおいては、市税の減少や行政経費の増加など、厳しい財政運営が予測されることから、財政調整基金や留萌市応援基金などを有効活用し、様々な行政需要に対応することとしています。引き続き、市税等の自主財源の確保や各事業の検証と見直しを進め、各年度において収支の改善を図り、持続可能な財政運営を進めていきます。